

修学旅行新聞

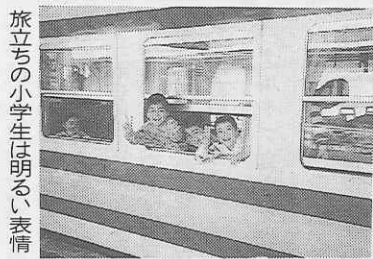
発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会
 発行人 前田 寛
 編集長 千代田 西(福) 2932
 東京都千代田区西(福) 2426
 2丁 電話 2426 6-36337
 2丁 電話 (東京)

修学旅行は、学習を社会へ移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育の一環として行う学校教育に上極めて重要な行事である。
 従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究し、常套の改善に努力し、ついで教育効果の充実に努める事は、必要である。教育界に課せられた責務である。
 (財団法人 全国修学旅行研究協会の趣意書から)

平成2年度 修学旅行費等の補助金増額

近く正式決定へ

本年度の要保護・準要保護家庭並びにへき地校の児童生徒に支給される修学旅行費、校外活動費の国庫補助金は、五月十日の平成二年度予算案衆議院通過、参議院送付により、遅くとも六月八日には正式決定の見通しとなった。



旅立ちの小学生は明るい表情

本年度の児童生徒一人当たりの金額は別表のとおりで、各費目については前年度に比べ増額されているが、その比率は0.5%から11.8%までとアンバランスが見られる。

平成2年度補助金予算

校種別	決定額	前年度比増
小学校	14,100円	400円 2.9%
中学校	39,300円	200円 0.5%

校外活動費(要保護児童生徒対象)

種別	校種別	決定額	前年度比増
宿泊を伴わない	小学校	820円	30円 3.8%
	中学校	1,160円	50円 4.5%
宿泊を伴う	小学校	2,270円	240円 11.8%
	中学校	3,420円	220円 6.9%

(上記金額の2分の1が国から補助され、残額は地方自治体が負担する)

本年度の修学旅行実施基準

海外修学旅行は13県1市に 航空機利用は17道県3市に

一般的傾向である。その他、注目の多い高校の海外修学旅行については、静岡県、香川県が新たに認め、13県1市の許可となった。また、航空機利用については、前記の2県を含め宮崎県が加わり合計17道県3市の許可となった。これで沖縄県を含め九州全県が航空機利用を認めたとことになる。

この調査は、(財)全修協が創立以来、継続実施しているもので、これによって、全国各地の公立学校の修学旅行実施の現状が明らかとなり、調査時点での修学旅行の全国的傾向が把握できる資料である。本年度も全面的な改訂はないが、旅行費用の上積みがかかる

全修協名古屋事務所 新人事発令

事務局長に谷口 昌(新任)



(財)全修協では名古屋事務所の人事を五月一日付で次のとおり発令した。
 事務局長 谷口 昌(新任)
 事務次長 池田 昌(新任)
 事務主任 谷口 昭(前任)

時言

改めて修学旅行の安全性の確保を

編集委員 北條直樹

華やかな「花の万博」会場で、会場をめぐる輸送機関の一つであるウォーターライドが追突、転落し、重軽傷者二十数名を出す大事故が起きた。

事故調査では、監視装置の見逃しという、運行に伴う安全対策のずさんさがまず指摘された。続いて、防護フェンスの高さや強度などの構造の欠陥や、開会までにシステム全体の点検を怠ったことなど、初歩的な不備が明らかになった。まさに人災である。一人間と自然の共生というテーマとし、地球環境を守るという国際的にも有意義な催しに、早くも大きな汚点がつき、残念でならない。

三月には、スパー長崎屋崎店で火災が発生し、十二名の死者を出すという大惨事が起きたばかりである。この時も、非常ベルは作動したが、平生から誤作動

改めて修学旅行の安全性の確保を

華やかな「花の万博」会場で、会場をめぐる輸送機関の一つであるウォーターライドが追突、転落し、重軽傷者二十数名を出す大事故が起きた。

事故調査では、監視装置の見逃しという、運行に伴う安全対策のずさんさがまず指摘された。続いて、防護フェンスの高さや強度などの構造の欠陥や、開会までにシステム全体の点検を怠ったことなど、初歩的な不備が明らかになった。まさに人災である。一人間と自然の共生というテーマとし、地球環境を守るという国際的にも有意義な催しに、早くも大きな汚点がつき、残念でならない。

三月には、スパー長崎屋崎店で火災が発生し、十二名の死者を出すという大惨事が起きたばかりである。この時も、非常ベルは作動したが、平生から誤作動

交通機関については、全幅の信頼を寄せ

交通機関については、全幅の信頼を寄せ、事前指導や実施に当たっては、集合、交通機関の乗降、高速道路におけるシートベルトの着用、船のデッキでの危険防止、宿舎における行動等、安全のための指導を徹底に行い、特に別記自由行動や野外活動においては、細かいチェックが大切になる。

児童生徒の行動についての指導は、修学旅行時だけの付随的な指導ではなく、日常の教育活動における十分な指導、一・二年の校外学習における指導などの積み重ねが、初めから、非常口、非常階段、避難用具はもろもろ、館内の防災設備や警備態勢、そしてエレベーターなど屋内外の危険箇所のチェック等もあり、単に「マル適」マークで事足りるのでは足りない。実地踏査の際の点検は、もちろん、実際の場所での児童生徒とともに、防災設備や緊急避難設備を確認することも肝要である。念には念を入れても過ることはない。花博故と相次いだ修学旅行の発生を、安全でも長崎屋でも、緊急の対応ができていれば、大惨事にならずにすんだはずである。努力を願うものである。

公立高校の海外修学旅行、航空機利用許可状況(平成2年度)



海外修学旅行可 航空機利用可

日本人海外旅行者数 昨年は966万人に 訪日外国人は283万人

平成元年の日本人海外旅行者数は、国際観光振興会(JNTO)の調べによると、前年対比14.7%増の九百六十六万二千七百五十二人となり、過去最高を記録した。

このうち男性は五百九十七万人(61.8%)で、年齢階層別では40歳代の百五十八万人を筆頭に、30歳代百四十八万人、20歳代百十七万人と続く。女性では、30歳代百六十八万人(38.2%)で、20歳代百五十三万人と極めて大きく引き離している。

40歳代四十八万人と続く。旅行先は韓国、香港、台湾、シンガポールと近隣諸国が上位を占め、中国は渡航自粛の影響で減少した。

本年は予想より一年早く、海外旅行者数が二千万人の大台を超えるものとみられる。

一方、訪日外国人の数は二百八十三万五千五百人(前年対比20.4%増)で、これも過去最高を示し、韓国、米国、台湾の上位三か国が全体の約六割を占めて、四位以下を大きく引き離している。

風紋

みどりの日、振替休日、メーデー、八十八夜、憲法記念日、国民の休日、こどもの日、立夏、大型連休のカレンダーは多忙を極めた。博多どんたくを筆頭に、全国各地での祭典も多彩だった。サクラ前線は北海道まで北上、新緑から深緑へ季節は変わるが、季節は旧暦に忠実だといふ。今年も旧正月が早く、さくらの開花も早かったが、やがて来る旧五月はつるつる、五月雨(さみだれ)が二か月も続いたら困る。五月(さつき)晴れとさつきの花が長続きしてほしい。外国の旅から帰ると、日本の緑が濃いのに改めて気付く。しかし、日本人は緑と青の区別が不十分、目に青葉「青田刈り」「青信号」……グリーンとブルーは別の色だ。ゴルフ場の農薬が社会問題になっている。グリーンを守るためにこんな問題が起きているのは理屈に合わないが、ゴルフ場も山の奥へ奥へと乱開発、山野草もきのこも貴重にならうし、農薬汚染の山菜料理など、何をかいわんやである。国際花と緑の博覧会も「花の万博」が通称となり、緑の影が薄れている。緑は花の根幹であり、空気浄化の源でもあるのに、国土緑化に貢献したスギが花粉症で嫌われるのは気の毒だ。修学旅行でも緑の大切さを考え直したい。東北や信州へ行けば緑を満喫できるが、広島、長崎にも緑は戻った。東京や京都、奈良にも、歴史と文化のかたわらに必ず美しい緑がある。一木一草にも心を配る日本人の素晴らしさを知り、それが地球の環境保全につながることを学ぶ機会となれば幸いである。(中)

信頼される旅づくり

修学旅行は、プランニングから実施まで、安全で意義深いものでなければなりません。近畿日本ツーリストでは、修学旅行に必要な事項をキメ細かく網羅した全国地域別「企画書シリーズ」を作成し、ご利用いただいております。さらに、北海道から沖縄まで、修学旅行・ビデオテープ「学習の旅シリーズ」もご用意。学校の教育方針に沿いながらも、生徒ひとりひとりの心に輝く思い出づくりのため、国内・海外のネットワークを駆使して、細心の努力をいたします。

心にあざやかな思い出、

ツーリストの修学旅行。

近畿日本ツーリスト

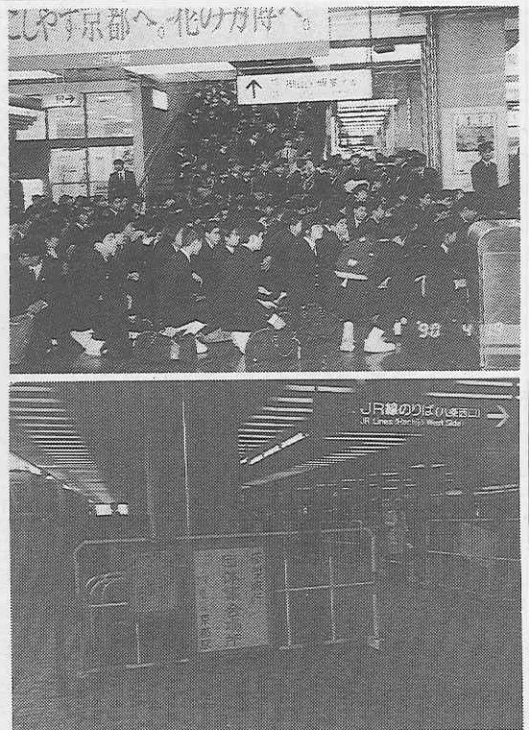
本社 千101 東京都千代田区神田松永町19-2
 支店/国内250店(登録)/海外15店 ©運輸大臣登録一般旅行業第20号

各地からの修学旅行生で にぎわう 新幹線京都駅

ゴールデンウィークととも に本格的な旅行シーズンの幕 明けだが、京都は文化観光都 市といわれるだけあって、年 間四千万人の旅行客が訪れ る。

修学旅行もそのうち百三十 万人前後に達し、その表玄関 である新幹線京都駅は、連日 児童生徒でにぎわっている。 連日団体輸送だけにとどまら ず、関東各都府の中学校を 始め、静岡、長野、新潟、香 川など、各地から連休中を除 き毎日九千人が到着、出発と 合わせて二万八千人が乗降 する。更に五月中旬・下旬のピ ーク時には、山梨、広島、山 口からも訪れ、独自計画の学 校も多数入浴する。

本年は、JR東海の京都駅 八条口周辺や新幹線コンコー スが整備されて、団体待合室 を商店街に模様替えし一般客 には好評だが、大阪で開催の 「花の万博」とも重なり、特 に多人数の修学旅行団体は、 集合場所等の確保に大わらわ の状況が繰り返されている。 中でも十一時台のコンコー スは、到着する団体と帰路に つく団体が重なり、短時間に



京都駅の修学旅行生たち①と軒下の団体集合場所

四千人以上が集中する。 先に助全修協では、京都市 観光局にも、京都駅の団体待 合場所の確保と生徒の安全な 誘導を依頼し、同局の協力も

あつて、JR東海側も八条口 外の広い軒下に集合場所を確 保することにも、コンコース では、連日職員を動員して誘 導に当たるなどの対応を行っ ている。

楽しい修学旅行にするため にも、ます事故の皆無が望ま れる。

名を借りて電気街へ、原宿で は明治神宮や太田記念美術館 を倒壊して竹下通りに集中す る。土・日を避け、平日の午 前中に限定すべきであろう。 交通機関の多様化 とデラックス化

交通機関の多様化も変わった。 航空機利用の増加、新幹線修 学旅行専用列車に二階建編成 導入や高速道路網の発達によ るバスの長距離化が進み、車 両のデラックス化は鉄道より バスが先行して、ハイデッカ ー車、更に二階バスを運んで 片道数百キロのバス旅行をす る学校も増えた。経済性では 有利だが安全性では不安もあ る。

平成新時代の 修学旅行事情 あれこれ

平成二年度の一学期が始ま り、小・中学校の新年度の修 学旅行がスタートした。新時 代の旅行形態は、自主見学の 導入、デラックス化の進行な ど、日進月歩の勢いで変化し ている。その幾つかを追って みよう。

身軽な旅立ち

バッグはトララックで 宅急便の普及で、旅先から 自宅へ荷物を送るケースが増 えているが、第一日の自主見 学をスムーズに行うため、東 京駅や上野駅で荷物をトララ ックに積み込む風景をよく見か ける。しかし一歩進んで、学 校から宿舎へバッグをトララ ックで先送る方法が始められ た。費用は多少かさむが、大 規模校ほど割安となり、一個

グループ自主見学

東京など大都会を始め、各 地で交通渋滞が慢性化してい る。バスを何台も連ねて同一 行動をするのは至難の業とな った。また、見学地も多様化 し、一度に多人数で見学可能 とは限らず、その打開策とし てグループ行動、自主見学が 盛んになったといえるよう。東 京や京都ではフリーきっぷ、 明日香や秋ではレンタルサイ クルの利用も普及した。

見学地の広範化

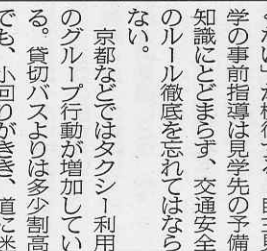
見学個所も随分変わった。 国語・社会中心の神社仏閣、 名所旧跡から、理科・美術・ 音楽・体育・英語と各教科に 広がる。東京では科学技術館、 通信総合博物館(ていばい)、 IBM情報科学館、上野 の各博物館・美術館、音楽堂、 更にNHK、東京ドーム、夢 の島熱帯植物館、葛西臨海水 族園、ディズニランドと、 目的地の広範化が目立つ。京 都でも京都タワーや東映映画 村の人気の高い。日光江戸村 長崎オランダ村、更に今春開 設のスペースワールドも人気 が上昇することであろう。た だし、大型遊園地のコース組 み入れは望ましくないとの考 えを表明している自治体、社 寺の拝観は宗教上の問題あり とする自治体もある。



原宿・竹下通りで腹こしらえ 道でも「赤信号で渡れば怖くない」が横行する。自主見 学の事前指導は見学先の予備 知識にとどまらず、交通安全 のルール徹底を忘れてはなら ない。

京都などではタクシー利用 のグループ行動が増加してい る。貸切バスよりは多少割高 でも、小回りがきき、道に迷 うこともなく、安全で好評と いう。

自主見学は自由行動とは違 う。本部を置くことはもちろ ん、適当なチェックポイント を設けて引率者が駐在した り、オリエンテーリング方式 を採り入れたりするが、ポケ ットベルの活用も有効だ。 しかし、秋葉原では見学予 定の交通博物館や神田明神に



小規模校ではサロンカーも 使用している。ビデオやカラ

新幹線一階は乗りこころ満点

教職員福祉問題研究会 第九回総会を開催

四月二十六日 京都市で

教職員福祉問題研究会の第 九回総会が、四月二十六日京 都市で開催された。この会は 教職員の福利厚生に関する諸 問題を研究し、全修協の教職 員研修旅行の発展に協力する ことを通じて、全国の教職員 の福祉向上に寄与するために 昭和五十六年に結成され今日 に至っている。

当日は、目下全国一斉に募集 活動が展開されている夏の教 職員研修旅行の目標四千百名 を完遂して一万名体制確立の 基礎固めをするため、教福研 会員で二千六百名を確保す ること、今世紀最後の国内で の国際イベントといわれる 「国際花と緑の博覧会」に 年間五千名の動員を果たすた め、教福研として二千三百名 を達成することが提案され、 堀内八男美(全修協)

これらの目的達成のための具 体的な方策について、参加会 員各府県それぞれ取り組み 計画について熱心な討議が行 われ、二つの目標達成が力強 く決議された。

また、任期満了に伴う役員 改選が行われ、次のとおり新 役員が選出された。

会長 神代義秀(大阪) 副会長 黒住嘉雄(京都) 石川欽士(静岡) 常任幹事 吉井淳(千葉) 神田優(三重) 幹事 秋谷良保(青森) 安 斉征子(福島) 長野猛彦(福 島) 大浦俊一(新潟) 大野 良兵(山口) 前田寛(全修協) 監査 中野浩一(石川) 吉 野浩暢(鹿児島) 事務局長 大友恭一(全修協) 事務局次長 堀内八男美(全修協)

「修学旅行に関する 研究論文」募集締切 近づく——日動火災

財団法人日動火災教育振興 基金が主催し、文部省、財全 修協後援の一修学旅行に関す る研究論文の募集は、六月 末日の締切日が近づいた。 これは、同基金の創立五周 年を記念して行われているも ので、概要は次のとおり。

▽応募の対象と資格 小・中 高・特殊教育学校の教職員

(個人・グループ・学校を 問わない)

▽内容 形式 修学旅行のよ り効果的な企画、安全対策、 実践結果の点検反省、将来 への展望等。四百字詰原稿 用紙三十枚程度(資料は別)

▽入選発表 出版 平成二年 十月中旬、応募者及び関係 学校へ直接通知。入選作品 は出版のうえ応募者全員に 贈呈。

▽特別助成 助成 特選五十 万円 一編 入選三十万円三 編 佳作二十万円十編 趣 意に合致する論文に二万円 を助成。特別助成は個人心 算の場合所属学校へ助成。

▽応募締切日 本年六月末日

▽問い合わせ先 財団法人日動火災 教育振興基金 事務局 千代 東京都中央区銀座五―一三 一七〇三・五四三・六一一一

とびだせ自然へ 緑の箱根へ

レクチャーホール

〒250-05 神奈川県箱根町元箱根164 箱根高原ホテル 電話0460-4-8595(代表)

さわやかな奥日光の高原で素晴らしい 修学旅行の一夜をお過ごし下さい。

そのほか 冬期はスキー教室 夏期は林間学校

奥日光高原ホテル 〒321-16 日光市湯元2549-6 (TEL) 0288-62-2121(代表)

——修学旅行の楽しいお食事—— 箱根彫刻の森美術館内 レストランコンポート

◇500名様迄、ご利用 いただけます。 ◇当レストランは、彫刻の森 美術館内の施設ですので、 入館を必要とします。

〒250-04 神奈川県足柄下郡箱根町 二の平1121 電話0460(2)1141(代表)

楽しい修学旅行を、 より安心 より快適に 「学校旅行総合保険」 をおすすめします。

東京海上火災保険株式会社 本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 電話03-212-6211(代表)